

2022年から変わる法・制度改正

取締役営業本部長 水之浦 英樹

みなさんは2022年に様々な法・制度改正などが変わる事をご存知でしょうか？
私自身、今までは知らないうちに改正になっていて『そんなルールいつ変わったん!?』と思う事が多々ありました。
今年は特に人事労務など「働き方」に関する変更が多くある様に感じます。
とりあえず2022年は何が改正になるかを調査した限り紹介させていただきます。

① 雇用保険マルチジョブホルダー制度(2022年1月～)	⑦ パワハラ防止法(2022年4月～)
② 電子帳簿保存法の改正(2022年1月～)	⑧ 年金制度改正法(2022年4月～)
③ 傷病手当金の支給期間の通算化(2022年1月～)	⑨ 白ナンバー車もアルコール検知器を義務化(2022年4月～)
④ 育児・介護休業法の改正(2022年4月～)	⑩ 民法改正、18歳から成人に(2022年4月～)
⑤ 女性活躍推進法の改正(2022年4月～)	⑪ 公益通報者保護法改正(2022年6月まで)
⑥ 個人情報保護法の改正(2022年4月～)	⑫ 社会保険適用拡大(2022年10月～)

特に4月からの改正が多いのが印象的です。そこで私自身、気になる3点を紹介したいと思います。

まずは、「⑦ パワハラ防止法」です。

今までパワハラ防止法はあったのではないかと考えていましたが、それは大企業で2020年6月1日からでした。
今回は中小企業対象として施行するそうです。会社で起こるハラスメントは12種類あるようです。日常、何気なく発した一言が自分はそのつもりでは無かったが、相手の捉え方によってはハラスメントになるかもしれない考えると「何も言えない世の中になるなあ」と考える今日この頃です。

2点目は、「⑨ 白ナンバー車もアルコール検知器を義務化」です。

今までは「緑ナンバー」で義務化されていたアルコール検知器でのチェックについて、あらたに自社製品の配送など「白ナンバー」の車を一定の台数以上使う事業者も対象になります。
対象となる企業は乗車定員が11人以上の白ナンバー車1台以上を保持、または白ナンバー車5台以上を保持する企業です。昨年も白ナンバーのトラックが飲酒運転で痛ましい事故を受けて義務化拡大したとの事です。飲酒運転撲滅の為には致し方無い改正だと感じます。
弊社も対象になるという事で早速アルコール検知器を購入いたしました。安全運転の管理者を選任し安全運転に努めて参ります。



3点目は、「⑩ 民法改正、18歳から成人に」です。

今さらなんではないですか??
しかしながら世界の国々を見ても、イギリス、フランス、ドイツ、カナダなど18歳以上を成人とする国の方がむしろ多数派みたいです。
成年に達すると、未成年のときと何が変わるのでしょうか？
民法が定めている成年年齢は、「一人で契約をすることができる年齢」という意味と、「父母の親権に服さなくなる年齢」という意味があります。成年に達すると、親の同意を得なくても、自分の意思で様々な契約ができるようになるということです。
例えば、携帯電話を契約する、一人暮らしの部屋を借りる、クレジットカードをつくる、高額な商品を購入したときにローンを組むといったとき、未成年の場合は親の同意が必要です。しかし、成年に達すると、親の同意がなくても、こうした契約が自分一人でするようになります。また、親権に服さなくなるため、自分の住む場所、進学や就職などの進路なども自分の意思で決定できるようになります。
さらに、10年有効のパスポートを取得することもできるようになります。
また、女性が結婚できる最低年齢は16歳から18歳に引き上げられ、結婚できるのは男女ともに18歳以上となります。
一方、成年年齢が18歳になっても、飲酒や喫煙、競馬などの公営競技に関する年齢制限は、これまでと変わらず20歳です。健康面への影響や非行防止、青少年保護等の観点から、現状維持となっています。
私の子供も19歳になりましたが、この4月からいきなり新成人と成る事は複雑でもあり、自立してもらえてうれしくもあります。
色々世の中変化してまいります但至少でも参考になればと思い紹介させて頂きました。



桜の豆知識

ホームガス課 森本 英幸

「さくら」の語源

「咲く」に複数を意味する「ら」を加えたものとされています。また、「桜」の「さ」は早苗、早乙女、皀月などと同じように稲や田の神様をさし、「くら」は神様の座る場所という説もあります。



山高 神代桜(やまたか じんだいざくら)…山梨県北巨摩郡武川村。

開花宣言

東京の靖国神社にある1本のソメイヨシノ。このソメイヨシノに5～6輪花が咲けば、開花宣言となります。日本の各都道府県に1本ずつ決められている「標本木」という桜で、開花しているかを確認します。標本木は全て“ソメイヨシノ”。
ちなみに、“開花”と“満開”の分け方は、次のとおりです。
●開花：5～6輪咲いた状態 ●満開：8割以上開いた場合
気象庁による開花宣言は今から60年以上前の1953年から始まったそうです。ただ、桜の木も生き物であることから寿命があります。そのため、後継候補を選ぶことも常々行われているそうです。三重県の標本木は津市の津偕楽公園内にあります。

桜の葉に毒

桜の葉にはクマリンという毒があります。クマリンとは、雨の日などに葉が落ちることで毒をあたりにまき、雑草が育つことを防ぐ役割があります。つまり、桜以外の植物を周りに生えないようにして、地面の養分を独り占めしようとしています。人体には特に影響はないみたいなので一安心です。

お花見の由来

春になれば桜、桃、菜の花など色々な花が咲き誇り、見どころがいっぱいあります。それなのに、花見といえば桜の花見をさすのはなぜでしょう？
それは、平安時代より桜が花の代名詞になっているからです（奈良時代は、花といえば梅や萩をさしていました）。平安の貴族は桜の花に心を躍らせ、桜を愛でては歌を詠み、宴を開いて楽しむようになりました。
また、農民にとって花見は豊作祈願の行事でした。古来、田の神様は冬になると山へ行き、春になると里へおりると考えられていました。春になっておりてきた田の神様が宿る木とされていたため、桜のもとで田の神様を迎えてもてなし、桜の咲き方でその年の収穫を占ったり、桜の開花期に種もみをまく準備をしたりしていました。
やがて、江戸時代になると、春の行楽として花見が庶民の間にも広がり、酒を酌み交わす花見になっていきました。三代将軍家光が上野に桜を植え、八代将軍吉宗が隅田河畔や飛鳥山を桜の名所にし、花見の場も増えました。園芸が盛んなこの時代に品種改良が進んだことで、身近な場所で花見が楽しめるようになったのです。

日本三大桜

- 山高 神代桜(やまたか じんだいざくら)…山梨県北巨摩郡武川村。樹齢2,000年以上。
- 根尾谷 淡墨桜(ねおだに うすずみざくら)…岐阜県本巣市。樹齢1,500年以上。
- 三春 滝桜(みはる たきざくら)…福島県田村郡三春町。樹齢1,000年以上。
人生に一度は見てみたいものですね。